

# 議 会 だ よ り

## か み ふ ら の



No. 79  
2013.7.25発行

身近な議会を目指して…

### contents

- 第2回定例会 各会計補正予算を原案可決ほか……………P 2
- 「認知症介護認定の見直しを」など6名の議員が町政を問う……………P 5
- 委員会報告「所管事務調査報告書」総務産建常任委員会・厚生文教常任委員会……………P 11
- 「みんなのページ」今回は『少林寺拳法スポーツ少年団』を取材……………P 15



『みんな「ガンバシ！」大きな声援』

(中央保育所 うんどう会)

## 第2回 定例会

第2回定例会を6月18日から19日までの2日間開催しました。補正予算などの議案38件や報告案件などを審議し可決しました。また、6名の議員が町長と教育長へ一般質問を行いました。

## 一般会計補正予算を可決

平成24年度各会計の決算確定に伴う繰越金と繰入金、保育所入所負担金の確定や保育士の処遇改善などに取り組んだ保育所への補助、超高速ブロードバンド環境整備事業や防災用自家発電設備の配備、健康増進事業、上中の耐震・老朽調査基本設計事業など6億5千828万円の補正予算を可決しました。

## ■6月補正予算の状況■

会計名	補正額	総予算額
一般会計	5億8280万円	64億5404万4千円
国民健康保険特別会計	2947万6千円	13億9150万4千円
後期高齢者医療特別会計	49万1千円	1億1686万6千円
介護保険特別会計	687万3千円	8億1357万7千円
簡易水道事業特別会計	138万9千円	6473万5千円
公共下水道事業特別会計	165万6千円	4億947万7千円
ラベンダーハイツ事業特別会計	450万円	3億189万7千円

## 保育士処遇改善事業を実施

賃金など保育士の処遇改善などのため、町立・委託保育所合わせて220万円を増額しました。

### 「質」疑「か」ら

**問** 民間保育所の補助申請など交付スケジュールは、園児の人数により10月以降に計画書を提出していただき、交付手続きを行う。

## 防災用自家発電設備の 実施設計を実施

災害時の避難所などの停電対策のため、役場・かみん・公民館・小学校の自家発電機の設置のための実施設計費1千万円を増額しました。



老朽化のため更新する公民館の自家発電機

### 「質」疑「か」ら

**問** 避難所用自家発電設備実施計画で、発電可能時間は設定しているのか。  
**答** 必要最小限の電力で、最低72時間。不足する分は防災協定で燃料・発電機などの供給を図る。

## 意見書を国などに 提出しました

不採算地区病院の適用要件の改正に伴う特別交付税の見直しに関する意見書

現在、上富良野町立病院は不採算地区病院として激変緩和策で特別交付税により、財政措置が講じられていましたが、地域要件が加わったことにより、特別交付税の対象外になる見込みです。町立病院は地域の中核病院であり、町民の命と安心を守るため、なくてはならない病院です。不採算地区病院の適用要件である地域要件を見直し、今まで通り特別交付税措置の対象となることを強く求める意見書です。

札幌航空交通管制部の  
存続・充実を求める意見書

札幌航空交通管制部の廃止が検討されています。北海道は広大な面積で、航空機の利用需要が高まってきていることから北海道での航空行政の枠組みを堅持すること、札幌航空交通管制部を存続させることを求める意見書です。

季節労働者対策強化を求める意見書

北海道の建設労働者は冬期間失業を余儀なくされます。また、現行の特例一時金は暫定で40日分、平均の受給額は19万円となっています。短期特例一時金を「50日分」に戻し、一般の失業給付「90日分」との選択制にすること。また、冬季援護制度を復活することなどを求める意見書です。

## 超高速ブロードバンドの

### 電波伝搬調査を実施

NTTが光ファイバーを設置しない周辺地域に無線での通信施設を整備するため、その調査費2千900万円を追加しました。

#### 「質」疑「か」ら

調査後の施設整備費は。

#### 問

調査後に実施設計をするが、図上では2億円程度。周辺地域のみ公費で施設整備をするのは不公平ではないのか。

#### 答

防災や福祉なども含め活用していくためには町内全エリアの整備が必要。

## 上富良野中学校耐震・老朽化調査基本設計を実施

上富良野中学校  
校舎の老朽化に伴い、耐震改修などのため、調査基本設計費520万円を増額しました。



老朽化している上富良野中学校

#### 「質」疑「か」ら

調査費の財源と今後のスケジュールは。

#### 問

調査費は一般財源だが、実施設計からは国費補助がある。26年度に実施設計、27年度に工事着工の予定。

### 各特別会計補正予算を可決

平成24年度各特別会計の決算確定に伴う繰越金と繰入金を一般会計へ繰出す補正予算を可決しました。

### 職員給与の臨時特例に関する条例を修正可決

震災対策の財源ねん出のため、国家公務員給与を7.8%削減していることに伴い、国は、平成25年度の地方交付税を給与削減相当額分減額し、地方公務員の給与についても削減を求めていることから、7月1日から来年の3月31日まで、町長7%、副町長・教育長4%、一般行政職員一律2%を報酬及び給与から削減する条例案が上程されました。

#### 「質」疑「か」ら

他町村に先んじて実施する必要性は。

#### 問

国の方針が不条理だと感じるが、交付税の削減から苦渋の選択をした。

### 職員給与の臨時特例に関する条例に対し修正動議

職員給与の臨時特例に関する条例に対し、議員から交付税額の確定がされていないことや、労使間の合意が見られないことなどの理由から「時期尚早」として修正動議が出され、実施時期を10月1日からとする修正動議が可決されました。

#### 「質」疑「か」ら

実施しないのではなく、10月に遅らせる理由は。

#### 問

他の町村実施状況や国の動向を見極める必要がある。

### おしえて!!

『修正動議』ってなあに？

「動議」とは会議中に議員が口頭や文書で発議し、所定の賛成者があれば議題となり議決されるもの。

「修正動議」とは修正案を備えて行う動議のこと。上富良野町議会では2人以上の発議者が連署しあらかじめ議長に文書で提出しなければ議題とならない。



## 手数料条例の一部を改正

北海道から市町村への権限移譲の一環として、住民に身近な事務についてはできる限り市町村が担っていくという基本的な考えから、「都市計画法に基づく開発許可等に関する事務」及び「屋外広告法に基づく屋外広告物の許可等に関する事務」に関する申請などの手数料を定める上富良野町手数料条例の一部を改正しました。

## 老朽化のため

### ロータリー除雪車を更新

現在の大型ロータリー除雪車が老朽化していることに伴い、防衛施設周辺整備交付金を活用し更新するため、3千559万5千円で購入する契約の締結を可決しました。

## サポート期間満了のため

### 教務用コンピュータを更新

今年度、小中学校に配置している教務用コンピュータのサポート期間が満了することに伴い、89台を76万5千150円で更新するための財産取得を可決しました。



## 畜産担い手育成総合整備事業 (再編整備事業) 委託契約締結

平成25年度から28年度までの4年間にわたり、草地造成整備、施設整備などを行う畜産担い手育成総合整備事業について、公益財団法人北海道農業公社と8千430万2千円で委託契約の締結を可決しました。

## 畜産担い手育成総合整備事業

### 施設を財産取得・処分

畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業）により建設した施設を北海道農業公社から取得し、農業者に譲渡するため5千108万4千円で譲渡契約の締結を可決しました。

## 質「疑」から

問

事業の内容と譲渡の方法は。

答

草地や畜産施設を11戸で整備。施設は一旦、公社から町が買い取り、受益者に譲渡する。

### 第3回臨時会（5月1日開催）

○小規模多機能型居宅介護事業所の建設に伴う補助と町有地の測量経費などの補正予算を可決しました。

小規模多機能型居宅介護事業所の開設に伴う北海道からの補助金と町有地の測量経費など3千420万円を民生費へ充当する補正予算を可決しました。

○小規模多機能型居宅介護事業所の建設に伴い社会福祉協議会へ町有建物の譲与を可決しました。

小規模多機能型居宅介護事業所の開設に伴い、社会福祉協議会から無償譲渡の要望があったため、平成23年7月まで使用していた泉町旧教職員住宅などの無償譲渡を可決しました。

### ◆質疑から◆

問 建設予定地の地盤から杭打ちの必要が増えたが、町の助成は行うのか。

答 施設整備は国・道から補助があるため、町が助成することは考えていない。

問 今後の入札スケジュールと運営への支援策は。

答 6月上旬までに入札し、着工される。直接の運営助成はせず、側面的な支援を図る。

### ○戸籍総合システムを取得

戸籍総合システムを北海道市町村備荒資金組合から1千790万2千150円で譲渡を受けました。

### 第4回臨時会（5月30日開催）

○労務単価の見直しに伴う予算を増額しました。

公共工事設計の労務単価が見直されたことに伴い、すでに議決している予算の公共建設事業の影響額などを試算し、その不足額335万4千円を増額しました。

### ◆質疑から◆

問 積算上の労務単価アップが直接、賃金の引き上げになるのか。

答 全体の事業費として入札するため、賃金への配分は事業者により異なる。

### 第5回臨時会（7月4日開催）

○老朽化に伴い大型水槽車を更新。

購入してから25年が経過し老朽化しているため、大型水槽車（小型動力消防ポンプ付水槽車）を特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により、5千400万円更新する契約締結を可決しました。

### ◆質疑から◆

問 更新する車両の性能は向上したのか。

答 タンクの容量は7千500リットルと少なくなるが、消火剤を混入して放水するため、消火能力は2倍となる。



村上 和子 議員

### 認知症介護判定の見直しと、サポーターの養成を見直しはできない

**村上議員** 町内の要介護

認定者388人の内、286人73.7%が認知症といわれている。認知症の方は自分が認知症という自覚がなく、プライドもあり、実態より軽く判定され、必要な介護を受けることができないなどの不満の声があり、介護認定審査会で認知症に対する考え方や判定の見直しを。

**向山町長** 審査判定にあ

たっては、公平性と客観性の観点から全国一律の

**村上議員** 所管事務調査

報告書でも認知症サポーターの養成を考えていくべきと示されており、あまり周知されて

いないのではな  
いか。もっと住  
民全体のもの  
として、正しい理  
解ができる研修  
の場づくりに力  
を入れるべきで  
は。

**向山町長** 現在

までに約100名の  
認知症サポ



ラベンダーハイッツで行っているディサービス

ターが養成されているので、思いを共有し、向上できるように取り組んでいく。

### 教育 就学援助制度は生保基準引下げと連動するの か 国の通知後適正に判断する

**村上議員**

経済的に苦し  
い家庭でも子どもが安心  
して学べるように就学援  
助制度がある。認定の基  
準額や給付内容はどのよ  
うになっているのか。

また、生活保護基準の  
引き下げと連動する仕組  
みとするのか。見直しの  
考えはないのか。

**服部教育長** 町では就学

援助事業のうち、要保護  
者に対しては生活保護費  
より学用品費、スキー用  
具費、修学旅行費などが  
措置されている。修学旅  
行と医療の経費は国から  
の補助を受け、町が支援  
している。準要保護の認  
定は世帯全体の収入額が

生活保護の1.2倍以下の基  
準を設け、同様の援助を  
行っている。平成24年度  
からPTA会費、生徒会  
費、クラブ活動費などの  
援助を行っている。国に  
おいては本年8月から新  
たな生活扶助基準に見直

### 母子健康 母子健康手帳の改正内容は 18歳までの成長曲線を 追加するなど配慮した

**村上議員**

妊娠時に発行  
する母子手帳の10年に1  
回の改正が平成24年に行  
われた。どのように改正  
となったのか。子どもの  
成長を幅広く理解する、  
町独自の子育てを支える  
重要なツールとしての活  
用を。

**向山町長** 平成24年4月

1日から改訂  
版の母子健康  
手帳を交付し  
ている。変更  
点は近年のハ  
イリスク妊婦  
の増加により  
妊婦健診の記

しすることとしており、  
平成25年度当初から要保  
護者として就学支援を受  
けていた方は補助の対象  
としている。国からの正  
式な通知の後、適切に判  
断する。

録欄の充実や、赤ちゃん  
の発育の項目は従来の  
「はい」「いいえ」の記載  
から達成時期を記載する  
方式に見直し、便色の情  
報も追加された。町独自  
の取組として18歳までの  
成長曲線を追加し、学童  
期への連続性を配慮した。



H24改訂版の母子健康手帳



金子 益三 議員

### エネルギー 公共施設への再生可能 エネルギーの導入を 今後の施設改修に併せて 検討していきたい

**金子議員** 燃料費の増高

が予測される中で、再生可能エネルギーの導入は必要不可欠になってくる。加えて二酸化炭素削減、

地球温暖化防止の観点や環境にやさしいまちづく

りのためにも早期導入が求められるがいかかが。

**向山町長** 国や北

海道においても様々な場所ですぐ省エネルギー化、再生可能エネルギーの



削減効果の高いヒートポンプ

ヒートポンプの活用を図っている。

**金子議員** 今後の改修計画を行う公共施設への導入予定はあるのか。

**向山町長** 改修計画は計画的に行っていく。設備

の改修に併せて省エネルギー設備の導入を検討し、効果を見極め実施していく。

**金子議員** 将来、再生可能エネルギーを中心とした一括管理型のエネルギー棟の建設は考えないのか。

**向山町長** 気候、地理的要件や立地条件などの課題から現時点で建設は考えていない。今後、施設の改修時に併せて再生可

### 光 観 非常に大きな 十勝岳地区を町の 新しい観光の柱へ 観光の場所である

**金子議員** 吹上地区と同

様に十勝岳温泉郷の施設も十勝岳開発基金などの活用を図り、源泉の確保

エネルギーを補完的に活用する有効性を検討する。

**金子議員** ESCO事業の導入でコストを削減できないか。

**向山町長** 本町の施設規模、エネルギー使用量等

から推察して導入はまだ課題が多い。今後の研究課題として認識している。

おしえて!!  
『ESCO (エスコ) 事業』ってなあに?  
顧客の水道光熱費などの経費削減を行い、削減実績から対価を得るビジネス形態のこと。

あり、地域と十分協議をして振興に努めていく。また、十勝岳地区の観光振興、環境保全の推進を図るため、基金の活用にも地域と協議検討をしていく。

**金子議員** 北海道で山岳リゾートとして位置づけられるような観光振興に

**向山町長** 十勝岳地区の良質な自然環境は大きな観光資源であるので、

様々な規制や制約がある中で山岳リゾートとしての位置づけができるかさらに検討をしていく。

**金子議員** 観光客が激減する冬期間の観光振興に力を入れる考えはないか。

**向山町長** 温泉や冬の美しい十勝岳の魅力を活かすため交通確保対策や広域の

取り組みを進め、関係機関と具体的な取り組みを研究していく。

**金子議員** 自転車のコース整備、団体への支援、また、大会などを誘致したり、自主開催は行わないか。

**向山町長** 近年国内外の観光客に人気のサイクリングについても、愛好者や団体を取り組む事業に対して誘致や支援など積極的に協力をしていきたい。



ヨーロッパに似た景色の十勝岳地区





米沢 義英 議員

### 中学生までの医療費の無料化を 将来を見ながら判断したい

**米沢議員** 子どもの健康を守るためにも、医療費無料化を中学生までに拡大するには、

**向山町長** 北海道の医療給付事業と連携し、給付対象者を拡大しながら助成措置を講じている。また、町の独自助成として受診頻度の高い乳幼児を抱える子育て世帯の負担軽減を図るために、就学前の乳幼児に対し



子育て支援センターで遊ぶ子ども達

みとしては理解するところである。しかし、町としてはどの分野を重点にして子育て全体の底上げを図っていくべきか、今

### 老健で働く介護職員を 正規職員として採用を 処遇改善 正規職員としての 採用はできない

**米沢議員** 町立病院には老人保健施設が併設され、介護施設として重要な役割を担っている。しかし、介護職員の身分は臨時職

後のまちづくりにとって重要な課題であると認識している。総合的に判断し、今後も検討を続けていきたい。

員のままであり、採用時には正規職員として採用をしては、

**向山町長** 介護の職場は不規則な勤務のため、職員の採用は非常に困難な職場で、慢性的な人手不足が生じている。このよう

な中で、働きながら努力して介護福祉などの資



介護療養型老人保健施設が併設されている町立病院

の介護職員と看護補助職員等の処遇の改善を実施した。忌引きなどの特別休暇制度の導入や賃金水

### 富原野球場の横にある トイレの改修を早急に 計画性をもって 協議を進めたい

**米沢議員** 富原野球場の横にあるトイレは古く、悪臭もあり早期の改修が必要では。

**服部教育長** 富原野球場の横にあるトイレは、昭和52年に富原運動公園として野球場、テニスコ

準の改善を行ってきていることから、老健の介護職員を正規職員として採用することはできない。

現在の場所では下水道管に接続する際の勾配の確保に問題もある。このため、建設場所の選定とともに財源の確保の課題もあることから、今後は計画性を持って組織内の協議を進めていきたい。

トなどを整備した際に河川側に建設したものの、建設後36年が経過し、清掃などの維持管理に努めているものの、水洗化には至っていない。教育委員会としては、水洗化の必要性は十分に認識している。しかし、



老朽化している富原野球場横のトイレ



谷 忠 議員

## 建設・土木業作業員の 退職金制度は 土 木 指名登録の業者の 全てが加入している

**谷議員** 建設業退職金制

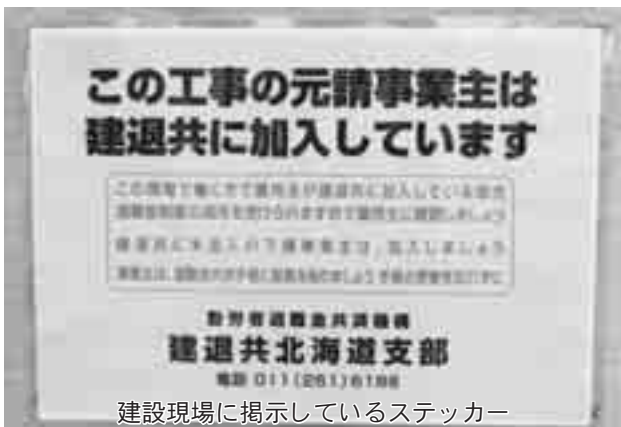
度は建設・土木業を営む事業所が任意で加入し、働くのをやめた時、勤労者退職金共済機構から退職金が出る仕組みである。建退共に参加している事業所は、作業員が働いた日数に応じて、共済手帳に証紙を張らなければならない。加入は任意であるので、行政が法的な権限での指導は無理とのことであるが、上富良野町での公共事業の入札時に

おける地元業者への対応

と町外業者の  
実態の把握は。

**向山町長** 町

においては建退共の加入を入札参加資格の要件とはしていない。工事を施行する場合には国交大臣が登録する経営状況分析機関による経営事項審査



建設現場に掲示しているステッカー

を受けることが義務付けられており、審査項目に建退共加入がある。結果として、町に指名登録がある業者の全てが加入していることになる。

**谷議員**

町の場合、下請や孫請業者も含めて対応しているのか。

**向山町長**

下請業者がそれらを満たしているかは、町として確認には至っていない。

**谷議員**

公共事業と民間の仕事での確認は。

**向山町長**

確認できる

べを構築した足跡はある。作業をしている方が不利益のないよう、町が何か

## 経営の視点に立ったシンク タンクと自治体の使命は 職員の意識 福祉の増進を基本として 取り組みをしている

**谷議員** 地域社会にとっ

て最も大きな組織体である役場は、人材、財政力、情報の収集力、情報を発信する能力を備えた大企業である。この核が地域

振興の先頭に立って人づくり、内発的な事業に進

むべきであり、豊富な情報と人材を動員して産業

の方向性、地域開発、交流人口の獲得など地域経

営の視点に立って機能を

発揮するか否かにかかっ

ていると思うが。

**向山町長** 町民の満足度

を高め、この理念のもとにまちづくりを推進していきたい。議員発言のとおりに地域の責任のもとに

地域が決定する力量が自治

体に求められており、

仕組みを持ってできるこ

とがあればと、現場が知

恵を出している。

心を持つよう、職員一人一人が地域に溶け込む体制を。

**向山町長** 職員が持つ能

力、知識もなかなか実を

結んでいない。取り組み

のステージとして、お互

いの心を通じ合わせ、交

流を深めることからス

タートすべきであり、職

員には現場感覚を行政運

営に生かせと何度となく

言っている。

能力を高め、

組織力の向上

につなげ、能

力開発に一層

取り組みたい。

**谷議員** 町の

行う行事、あ

るいはイベント、

諮問機関

への参加など、

参画をしてい

る人ほど幸福

感や満足度が

高い傾向にあ

る。一人でも

多くの方が関



役場総務課の朝礼風景





佐川 典子 議員

予防接種

風疹が流行、接種率低い  
世代など無料化にしては

周知啓蒙し

支援策を検討する

佐川議員

妊娠初期に風疹に感染し、目の異常や難聴など先天性風疹症候群の障がいがあること

がある。予防ワクチンの接種率の低い年代の男女や今後妊娠する可能性のある女性など無料化にして生まれて来る子どもや両親となる若い世代の不安を解消しては。

向山町長

流行は春から夏に多く見られ首都圏を中心に増加している。予防接種法の改正に伴い、

昭和54年4月2日〜62年10月1日生まれの接種率が低く、該当世代が結婚や妊娠の適齢期であり、支援策を検討したい。

佐川議員

6月18日のNHK朝のニュースや北海道新聞の記事で風疹1万人突破とあり、自治体の施策が注目される。町の対応を伺う。

向山町長

対象者の絞り込みはある程度推測可能で妊娠予定や抗体が少ない方に対応する。

佐川議員

感染症予防の対策は、ゆっくりでは間に合わない。今後、夏の行楽で本州から来道され、『嵐』の映った名所に行く人、お盆や帰省もあり様々。感染していても30%〜50%の人は症状が出ない。本人も気づかないまま感染を広げることもある。働く若い世代に健康推進のまちづくりを進

める強い姿勢を見せ、「健康のまち宣言」をすすめるのであれば、早急に取り組むべき。罹患者がいなくても無料化を進めている自治体もあり、医療費の抑制など将来を見据えて無料化にしては。

向山町長 来年ということではない。近いうちに同じ意を持ち、取り組みを進める考えでいる。

教育

郷土学習の資料に自衛隊の

記述を増やしては

改正時に自衛隊の

災害支援など記述したい

佐川議員

郷土学習は町の成り立ちと歴史、その地域に住む人々の暮らしを通して町と人々の繋がりを学び、自分や家族・その土地特有の住民気質と文化などを学ぶ大変重要な社会科学習。この学習を通じて、郷土愛を育てる意味を持つ、その中

に自衛隊の現状やOBも含め人口の5分の1を占める構成員で、様々な仕事のひとつであることなどの記述を増やしては。

佐川議員 この記述だけでいいの。町との繋がりが町に寄り添っている事など理解できるように文章を増やし学ばせる事は重要。町と自衛隊の結びつきが強いと自負している人も多い。副読本の中の安全な暮らしに「(1)消防署」、「(2)警察署」、「(3)自然災害を防ぐ」とあり、砂防ダムなどが載っている。町で様々な災害が起きた時、誰が動いてくれるのか。この「(3) 自然災害を防ぐ」という項目に消防署・警察署・自衛隊との関連について書くべきだと思うが。

服部教育長

平成23年3月に副読本を改訂した。「人口およそ1万2千人の農業と観光、自衛隊の町です。」「町に自衛隊駐屯地があるため他の町に比べ公務員が多い。」という記述とグラフが掲載されている。副読本は先生が編集委員で2年をかけて編さんしている。改訂に向け様々な意見と学習指導要領など見据え準備している。

佐川議員 新学習指導要領「生きる力」にも「地域の人々と関係機関の連携がある」現在の自衛隊は地域との共存共栄であり、新しい時代の立場や考え方を町から示しては、新しい時代の立場や考え方を町から示しては、自衛隊の災害支援について記述するよう示したい。

佐川議員 平成28年に改訂発刊だと26年に動かなければならない。新しい情報や数字など見た目に差異のない写真など使うことについて伺う。

服部教育長 当然必要なことで改訂時にできるだけ新しいものに更新する。



社会科副読本



岩崎 治男 議員

## 農業 6次産業化への進め方は 農 担い手の確保や育成などに どのようにするのか 積極的に力を注ぐ

**岩崎議員** 安倍首相は農

業強化を景気回復に向け  
た企業支援を柱とする成  
長戦略を発表した。農業  
関連では、農家が生産か  
ら加工・販売までを手掛  
ける「6次産業化」の市  
場を拡大するとともに、  
農業・農村の所得を倍増  
させる目標を掲げた。向  
山町長は2期目の新しい  
まちづくり構想で生き生  
きとした産業育成という  
ことで、「新しい産業の  
創出」を構想としている。

若者が希望の持てる町の

農業・農村、また、「6次  
産業」に対する推し進め  
方はどのように考えてい  
るのか伺う。

**向山町長** 安倍首相は農

業の所得向上に対し、非  
常に積極的な数値目標を  
掲げ、今後の農業施策へ  
の大きな期待を感じさせ  
ているが、同時に農業者  
自身の頑張りも強く求め  
られていると考える。  
「6次産業化」は農業の  
向上、経営安定、雇用機

会の拡大など  
有効な地域振  
興策の一つで  
あると認識し  
ている。平成

25年度以降の  
認定案件につ  
いては、都道

府県の交付金

事業として展

開されている。

当町に認定を

受けた経営体

が二つある。

町としても認

定に必要なサ

ポートを行っ

ている。

**岩崎議員** 当町に認定を

受けた経営体が二つある

ということだが、どのよ

うな内容の経営体なのか。

**松田産業振興課長** 一つ

については醸造用のブド

ウの栽培とワインの製造

販売事業、もう一つは農

業者、法人で生産してい

るハルユタカ・きたほな

みを使い、パンやスノー

ツなどの商品開発、販売

までをつなげるという内

容の計画で、事業認定を

受けたということになっ

ている。



ワイン用のぶどう畑

理解している。

**松田産業振興課長** ホッ

プ栽培面積はトータルで

38ヘクタールとなってい

る。

**岩崎議員** ビールを活用

した6次産業化を支援し、

町の名声を高めていく一

つの産品になると思い、

ビールの原料について伺

う。

**向山町長** 地域おこしに

活用し、事業化の窓口も

町として取り組みを進め

ているので、理

解いただきたい。

**岩崎議員** 上富

良野産の豚肉や

牛肉などのブラ

ンド化、PRを

どのように行っ

ていくのか。

**向山町長** 観光

振興などのツー

ルを通じてPR

し、既に多くの

事業者の方が取

り組んでおり、

側面的支援をし、

町の活性化に結

びつなげていく。

**岩崎議員** 上富良野農業

の所得が倍増できるよう

に施策を考え、活動して

もらいたい。

**向山町長** 農業の所得を

増やすことも大事である

が、農業者をしつかりと

育てていくことが根っこ

にあるべきで、そういう

認識で取り組みをさせて

いただきたい。



ホルスタイン牛の牛舎

『所管事務調査報告』

平成23年第3回定例会以降の閉会中の継続調査として、各常任委員会が調査していた事件について、平成25年第2回定例会で報告されました。  
また、詳しくは町議会のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

総務産建常任委員会

『防災対策』

自主防災組織

いざというときに避難の呼びかけや誘導、避難施設の運営を自主的に行う組織であることを考える、普段から地域の住民と話し合い、防災訓練を効果的実施するためには、



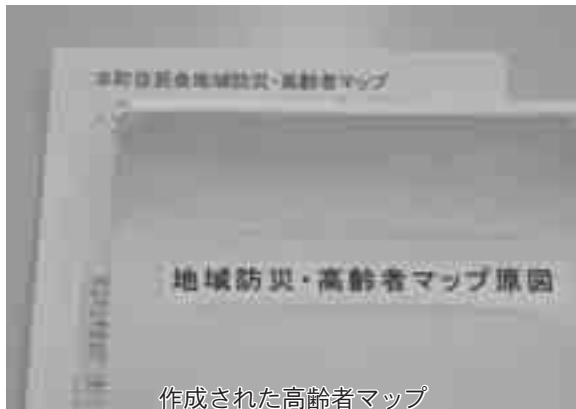
自主防災組織の防災訓練のようす

役割分担を決めておくことが必要と考える。例えば「自主防災活動マニュアル」を作成することも必要である。訓練に、一人でも多く参加してもらうためには、町内会の運動会、レクリエーションなどと組み合わせるなどの工夫が必要である。

高齢者・障がい者

要援護者の避難対策

町でも防災マップが住民会単位で作成されつつあるが、要援護者ごとに避難支援プランを作成し、支援の対象を特定したり、リストをもとに、公助と共助の支援関係機関など、メンバーと要援護者が協働して避難支援プランを作り、要援護者側との情報共有が必要である。



作成された高齢者マップ

災害時のボランティア

大規模な災害時には被災者の発生が予想されることから、被災者ニーズに迅速に対応することができるボランティアによる救

援活動が重要である。災害発生時には多くのボランティアの人達が駆けつけることが考えられることから、ボランティアの力を効果的に結びつけ救援と被災地区の復興につなげるため、近隣市町村の連携と「災害ボランティアセンター」の設立が重要である。

まとめ

町は、十勝岳火山災害や風水害、地震災害などを想定した自主防災組織の設立や運営、維持など、高齢者や障がい者など要援護者の避難支援の必要性や位置付け、あるいは災害ボランティアセンターの設立や運営についてしっかりと計画に反映させる必要がある。



十勝岳噴火総合防災訓練のようす



## 『観光振興』

## く上富良野町の観光の現状く

観光客の入り込み数は、概ね80万人台で推移しているが、近年にかけて減少傾向にある。観光客の多くは日帰り客であり、道内客のウエートが高くなっている。さらに近年にかけては外国人の観光客も増加している。

観光客の入り込み状況を見ると、7月・8月の夏場に集中している。冬場のイベントがあるものの11月から4月にかけて観光客の入り込みが少なくなっている。夏に行われる「花と炎の四季彩まつり」が突出している。来訪者の多くが花観光を目的としていると考えられる。

町には「花」「温泉」「登山」など多くの観光資源を有しているが、道内客を中心に夏場の観光に大きく依存していることが大きな特徴であると考ええる。観光客の交通手段は車であり、宿泊施設の魅力を高めないと通過型になりがちなこと、冬の観光資源の発掘を増やしていくことが必要と考ええる。

## く上富良野町の観光の課題く

近隣地域に宿泊客が奪われている。町の観光は夏場を中心に道内の日帰り観光客に大きく支えられているのが特徴の一つと

なっている。宿泊客が近隣地域に奪われており、通過型の観光地であることが課題の一つであると考ええる。

町の観光は通過型の観光地の性格が強いと考えられる。上富良野町の観光資源を磨き、上手に発信していくことで、町内を周遊して消費してもらい、宿泊客を増やす工夫が必要と考ええる。観光協会では「丘めぐりコース」など、おすすめ観光ルートを紹介している。ルート上で魅力ある食・体験などの観光資源を発掘・育成、観光客に立ち寄ってもらう仕組みを作り上げることが重要である。

町は夏場に観光客が集中していることから、通年観光の展開が必要である。

町は美瑛町や富良野市と比べて知名度が相対的に低いと考えられる。今後、



日の出公園を訪れる観光客

宿泊客の獲得のためにも、観光資源を積極的に発信し「上富良野町」の知名度を上げることが必要である。

## ま と め

町の観光の課題は、夏場を中心に道内の日帰りの観光客に大きく支えられ、近隣地域に宿泊客が奪われているのが特徴の一つとなっている。今後は「大自然満喫コース」「温泉めぐりコース」など、おすすめ観光ルートを紹介するなど、観光客に立ち寄ってもらうための仕組みを作り上げて、通過型の観光から通年観光展開が必要である。

「観光振興計画」が策定されたが、観光協会や関係機関はもとより、町民が参画し情報共有と協働により、着実に計画を進めていくことが重要である。観光の内容も、「見る」「食べる」「体験する」だけではなく、目的を持ったアクティビティがあり、また、細分化しており、小さな需要に対応できる感性和サービスが必要と考ええる。観光がわが町の基幹産業に匹敵するような産業になり、第5次総合計画のスローガンである「住んでいて良かった、これからも住み続けたいまち上富良野」を構築することにもなり、まち全体の発展に繋がるものと考えられる。

# 厚生文教常任委員会

## 『学校施設のあり方』

### ■上富良野小学校の現状

上富良野小学校は昭和35年に建築され老朽化が著しく、屋根の劣化などによる雨水の浸入と、それが原因と考えられる躯体の傷み、給排水設備や電気設備、機械設備、暖房設備も老朽化が進み、抜本的な改修が必要になってきている。

また、校舎は3棟の校舎が渡り廊下でつながれていて、構造から、児童玄関が3ヶ所にある。防犯上にも問題がある。平成20年度に実施した耐力度調査では、校舎全般的に構造耐力には問題はないが老朽化の度合いが比較的大



改築前の上富良野小学校

きく、改築が必要という結果になった。耐震診断の実施が義務付けられ平成21年度に実施した耐震2次診断の結果、耐震基準を満たしておらず、大地震時に倒壊、または崩壊する危険性が高いため、改築の必要性が生じている。

### 〈上富良野小学校の

#### 改築概要調査〉

自然エネルギーを利用した環境配慮で、外断熱は、レンガ、湿式、乾式外断熱工法によるもの。自然エネルギーの活用は、太陽光発電や吹き抜けを利用した空気循環システムなどさらに地中熱ヒートポンプを利用した暖房など、維持管理費の少ない設計となっている。また、障がいのある児童やPTA、地域のお年寄りが利用しやすくするために、外にベンチの設置、ひさし付き廊下、段差の無い玄関まわりなど、バリアフリーにも配慮した造りとなっている。



上富良野小学校改築工事のようす

## まとめ

上富良野小学校は昭和35年に建築され老朽化が著しく、給排水設備や暖房設備なども老朽化が進んでいるため、抜本的な改修が必要となっている。

また、耐震基準を満たしておらず、大地震時に倒壊、または崩壊する危険性が高いため改築の必要性が生じている。

学校施設は子ども達が一日の大半を過ごす学習・生活などの場であり、有事の際も安全で豊かな環境を確保することが求められ、天井や窓ガラス、照明などの非構造部材についても最小限に整備することが望まれる。

災害時には地域住民の避難場所となるため、安全性の確保された機能を持つことが必要である。倒壊・大破する恐れのある危険度の高い上富良野中学校の校舎や体育館など緊急性の高いものから耐震化推進計画を企画・立案し、早急に実施することが望まれる。学校施設は建てたら終わりではなく、町民が学び舎に向くことができるような「地域のシンボル校」となるよう子ども達の将来と夢に繋がる学び舎として期待したい。

## 『高齢者対策』

### ■介護予防の充実

第5期「介護保険事業計画・高齢者福祉計画」が平成24年度から平成26年度までの3年間の計画が示された。介護保険の運営や高齢者に対する生活支援、介護予防、生きがい対策、認知高齢者の対応目標を定め、その実現に向けて取り組むべき施策を明らかにしている。

町の介護保険認定者数は402人（平成24年12月末）で同じ人口規模の町と比べても315人程少ない。これは町の保健指導により特定健診や特定保健指導が全国・全道的にトップクラス（健診受診率23年度70.1%、特定保健指導83.9%）にあ



保健指導のようす

ることが上げられる。高血圧や糖尿病など生活習慣病予防の効果が反映された。

### ■介護予防事業

1次予防では、高齢者を対象とする事業を行っており、各老人会の介護予防学習の実施、健康推進班栄養士による男の料理教室の実施、高齢者に関わっているボランティア、住民会、福祉推進員に認知症予防学習とサポーター養成研修に取り組んでいる。介護予防事業の主なものに、2次予防対象者が閉じこもり予防を目的として通う「生きがいデイサービス」、ラベンダーハイツ（毎週木曜日）かみん（毎週土曜日）があり利用者からも喜ばれている。

運動機能の向上を目的とする「お元気会」も、かみん（毎週火曜日）泉栄防災センター（毎週金曜日）の2ヶ所で行われており、機能回復と意欲の向上につながっている。

## ま と め

上富良野町の65歳以上の高齢者は、3千人（平成24年4月末）で高齢化率は26.3%と全国や全道の平均より若干高くなっている。

産業構造などの変化により高齢化の進行は緩やかに進行すると予想される。高齢社会と共にひとり暮らしをする世帯が増えてきており、独居老人世帯が孤立化につなが

らないような対応が大切である。平成25年11月、上富良野町社会福祉協議会による小規模多機能型居宅介護施設事業所の利用が可能となることで、24時間安心の介護サービスの提供や、介護利用者と家族のニーズを地域で支える在宅介護の拠点として期待される。

また、認知高齢者が増える傾向にあり、本人や家族のメンタル面をサポートする体制を作ることが望まれる。今後、民間のサービス提供者や社会福祉協議会、病院や地域包括支援センター、ボランティア、家族や民生児童委員などが情報共有を行い、介護を必要とする人が利用しやすい環境の提供を促すことが望まれる。

安心して生活できる町として社会全体で支援していくシステムの構築をどう進めるか、町の施策のあり方が求められる。



かみんで行われているお元気会のようす





インタビューは・・・  
村上副委員長です！

今回紹介する団体は、少林寺拳法スポーツ少年団です。代表の齊藤慎吾さんに活動内容についてお話を伺いました。この日は少林寺拳法に興味のある子ども数人が体験入団で参加をしていました。道場ではエイ・ヤーという大きな声が響きわたり、指導者の先生を相手に汗を流しながら体いっぱい稽古に打ち込む子ども達の真剣な姿がとても印象に残りました。

## インタビュー

### ◆どのような活動を◆

**村上副委員長** 少林寺拳法スポーツ少年団が結成された経過をお聞かせください。

**齊藤代表** 昭和37年5月、自衛隊内に上富良野支部として設立されました。

当初は自衛官中心でしたが、自衛官の子ども達が加入するなど団員数が次第に増え、町の道場に移転をして上富良野支部として発足しました。現在は、スポーツ少年団として活動をしています。

現在の団員数は14名で、毎週火曜日と金曜日に社会教育総合センターの道場で、午後6時45分から9時まで活動をしています。少林寺拳法に興味のある方はいつでも入会を受けています。体験入団も実施しています。

**村上副委員長** 少年団ではどんな活動をしていますか。

**齊藤代表** 年間行事として富良野道



場との合同稽古、昇級試験と各種大会への参加、子どもたちの技術と心の向上を目標にし、4年生以上を対象としたリーダー研修を実施しています。

また、武道を通じて学んだことを確認するための授業として取り組んでいるのが社会奉仕としてのゴミ拾いがあります。

**村上副委員長** 少林寺拳法を通じて子ども達に伝えたいことはありますか。

**齊藤代表** 日常生活の中でも大変なことがたくさんあります。少林寺拳法の中でも難しい技がたくさんあり、できないと諦めるのではなくできるまで努力をして欲しいです。

### ◆議会・行政にひとつ◆

**村上副委員長** 町議会や町に要望はありますか。

**齊藤代表** 議会広報は読んでいます。議会の様子は議会広報だけでは分かりづらいところがあります。身近な議員の方に話を聞いて初めて議会の様子が分かることがあります。

床の道場で多く練習ができればと思います。道や町が持っている商業者に対する支援制度を分かりやすく開示して欲しいです。今アウトドア検定に挑戦中で、町に来た観光客の人に町の良さを少しでも発信できればと考えています。

# 議会の うごき

4月26日	総務産建常任委員会
5月1日	第3回臨時会
10日	新潟県見附市議会 (産業厚生常任委員会) 視察来町
15日	厚生文教常任委員会
20日	総務産建常任委員会
22日	沖縄県金武町議会 (総務財政委員会) 視察来町
30日	第4回臨時会
31日	厚生文教常任委員会 議会運営委員会
6月10日	厚生文教常任委員会
11日	総務産建常任委員会
12日	議会運営委員会
13日	全員協議会
18日	議会広報特別委員会 第2回定例会(1日目)
19日	第2回定例会(2日目)
27日	全道町村議会議員研修会
28日	先進地行政調査 第5回臨時会
7月4日	議会広報特別委員会
9日	宮城県大和町議会 (産業建設常任委員会) 視察来町
11日	議会広報特別委員会
18日	議会広報特別委員会 芽室町議会 (厚生常任委員会) 視察来町

## ●北海道町村議会議員研修会

6月27日に札幌コンベンションセンターで開催された北海道町村議会議長会主催の研修会に議員12名が参加しました。

慶應義塾大学法学部教授 片山善博氏から「議会改革に期待する」、政治アナリスト 伊藤惇夫氏からは「今後の政局・政治展望」についての講演を受講しました。

## ●地中熱利用シンポジウムに参加、札幌市中央消防署豊水出張所を視察

前日の研修に引き続き、6月28日に先進地行政調査を行い、午前中は地中熱利用シンポジウムに参加し、上小に導入される「地中熱ヒートポンプ」の技術や活用普及の状況について4件の講演を受講しました。

午後からは、札幌市中央消防署豊水出張所で、今年3月に整備された地中熱ヒートポンプを実際に視察し、理解を深めました。

## ●新潟県見附市議会

(産業厚生常任委員会) 視察来町

5月10日に新潟県見附市議会の産業厚生常任委員会が「町立病院の経営」について調査をするため来町しました。

見附市は町と同じく市立病院がない。



## ●採算地区病院の採択要件の見直しなどの対応や今後の課題について意見交換が行われました。

5月22日に沖縄県金武町議会の総務財政委員会が「町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」について調査をするため来町しました。

## ●宮城県大和町議会

(産業建設常任委員会) 視察来町

7月11日に宮城県大和町議会産業建設常任委員会が「上富良野町振興公社・かみふらの十勝岳観光協会の運営状況について」「町の観光振興について」の調査のため来町しました。



## やまびこ

■皆さんの暮らしはよくなりましたか？  
時の政権がしきりに景気が良くなり国民の所得も改善されると述べています。

首をかき上げる人も多いのではないのでしょうか。酪農家の青年が私にこんな話をしてくれました。「農畜産物の関税が廃止されれば農家は必ず減る。この先農業がどうなるのか分かりません。でも僕は農業が好きで農業をしています。」と話をしてくれました。揺れ動く心の中を見たような気がしました。青年の希望を奪うような政治であってはならないと感じると同時に議員としての引き締まる思いがしました。

■議会広報委員として2年が過ぎようとしています。読者に読まれる広報作りに心がけるだけで精一杯だったような気がします。これからも議会広報委員会一同、読まれる広報作りのために努力をしてみたいです。いつも「議会だより」を愛読いただきありがとうございます。

(米沢 記)

議会広報特別委員会		
委員長	米沢	義英
副委員長	村上	和子
委員	徳武	良弘
"	岩崎	治男
"	中澤	良隆
"	岡本	康裕

